

令和2年度総会会長挨拶

令和2年5月27日（水）

本日は、令和2年度総会ということでございます。本来であれば、会員の皆様のご意見を伺うべき総会には、多くの会員にご出席いただくべきところですが、新型コロナウイルス感染対策のため、やむを得ず、少人数での開催にご協力をいただいたところです。私の挨拶も極力短くさせていただきます。

昨年度は、会員皆様のご協力を受けながら、精力的に各種事業に取り組んで参りました。その結果、いずれの事業とも順調に推進され、地域社会の期待と信頼に応えるとともに、協会に求められる社会的使命を果たすことができたものと考えております。改めて会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

さて、当協会は本年4月1日に名称を「青森県産業資源循環協会」と改めたところです。循環型社会の実現のため、産業廃棄物業界が担う役割は重要になっており、産業廃棄物を処理・処分する単なる「受け手」から、産業廃棄物から資源やエネルギーを製造する「創り手」へと変わっていくことが求められています。協会としては「地域社会と県民から信頼される青森県産業資源循環協会」という理念をしっかりと継承しつつ、会員の皆様のご支援とご協力を頂戴しながら、諸課題に取り組んで参りたいと考えております。

なお、本来であれば、会長表彰の授賞式を総会において行うところであり、後ほど事務局から受賞者の紹介をさせていただきますが、残念ながらありますが、授賞式は省略させていただきます。受賞者の方々には、これまでの協会へのご貢献に感謝申し上げます。

最後に、本日の総会が円滑に運ばれますようご協力をお願いするとともに、会員皆様のご健勝とご繁栄を祈念申し上げ、開会に当たってのご挨拶といたします。